

論文要旨

経営学研究科経営学専攻修士課程
人材・組織マネジメントコース
佐藤 政春

本研究では、ミドルシニアを対象としたキャリア研修の効果の持続を明らかにするため、3社に協力を依頼しキャリア研修を以前に受講した経験を持つ10名に対してインタビュー調査を行った。

現在の日本では、従来の定年年齢であった60歳を超えても働き続けることが一般的となり、雇用する企業においても人手不足の対応として今後更にシニア社員の活用を図っていくことが求められているが、役職定年や定年後の働き方にモチベーションを持ってないシニア社員も存在していることが課題となっている。個人が生きがいを持って働き続けるには、一人一人が自分のキャリア観を持ちキャリアデザインを作っていくことが必要であり、そのための取り組みとしてキャリア研修がある。一方で、これまでキャリア研修の効果については、アンケート調査は行われているものの、研修後に行動変容があるのかは明確でなく、この点においてキャリア研修の有効性が確実にあるとは言い切れなかった。

研修の有効性は、研修での学びが一般化され、これが現場に転移して役立つことで認められるものであり、それには受講後の行動を見る必要がある。本研究ではこの視座から行い、まずは企業におけるキャリア研修の実施状況を確認し、次に教育ベンダーが実施しているキャリア研修の特徴を明らかにした。これを踏まえ、研修の効果の持続に関する先行研究を調べ、キャリア研修の効果の研究では研修転移の概念に基づく調査が行われていないことを確認した。

調査に当たっては、キャリア研修の特徴から受講後の行動には自己啓発行動と職場適応行動があると想定できることから、次の課題を設定した。

- 課題1 ミドルシニア向けキャリア研修の受講者は、受講後、職場に戻り自己啓発行動を取るのか。
- 課題2 ミドルシニア向けキャリア研修の受講者は、受講後、職場に戻り職場適応行動を取るのか。
- 課題3 自己啓発行動を行った人と行わない人の違いの要因は何か。
- 課題4 職場適応行動を行った人と行わない人の違いの要因は何か。

この課題を明らかにするためのインタビュー調査を行った結果、課題1の自己啓発行動を研修前から継続して行っていたのは4名であり、研修転移により研修後から行動を行ったのは2名に留まっていた。また、その具体的な行動は、現在自分が担当している業務に関

するものが最も多く、その他、自分の興味関心に基づき取り組むもの、将来、新たな仕事で必要とされるスキルを身に付けるために行うもの、将来に向けて意識変革するために行うものであった。

課題2の職場適応行動は、研修前から継続して行っていたのは6名だが、研修転移により研修後から行動を行ったのは4名であった。その具体的な行動は、同僚とのコミュニケーションの取り方に関する行動が最も多く、次いでフォロワーシップに関する行動、他者尊重に関する行動があり、その他に職場内における率先行動であった。

課題3については、自己啓発行動の要因に受講者の属性は関係がなく自分の将来や実務能力および環境変化が自分に及ぼす影響についての認識の違いが結果の差に見られ、このことから次の3点がわかった。

- ① 仕事以外の事柄への関心度の高さは、自己啓発行動を行う要因になる。
- ② 現在又は将来、自分が必要だと思う実務能力レベルと現状レベルのギャップの認識は、自己啓発行動の要因になる。
- ③ 現状から見た将来の仕事への危機感や改善の必要性の認識は、自己啓発行動の要因になる。

課題4については、自己啓発行動同様、職場適応行動にも受講者の属性に関係はなく個人の資質による違いがあることがわかった。またこれに加え、研修後のフォローアップの影響も示唆され次の3点が明らかになった。

- ① 人間関係を重視する意識は、職場適応行動を行う要因になる。
- ② 社内の立場が変わる又は変わったことへの認識は、職場適応行動を行う要因になる。
- ③ 研修後のフォローアップは、職場適応行動を行う要因になる。

以上の結果から、ミドルシニア向けキャリア研修の有効性の一端が明らかになり、今後キャリア研修の有効性を高めるための4点を示唆した。

第一は、キャリア研修を実施する企業は、社員の社外活動の支援を明示することであり、第二に、キャリア研修を行う企業は、キャリアマップやシニアの働き方を明示するようにし、第三は、キャリア研修の時間は余裕を持った設計をするようにする。最後の第四は、キャリア研修取り組み後のフォローアップを行うようにすることである。

今後の課題としては、調査対象を増やすことや受講者の職場関係者にも調査を行うこと更に、別のキャリア研修でも同じ結果になるのかを検証することが挙げられ、これによりキャリア研修の有効性が更に認められることが期待できる。